事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和６年　11 月 22 日（19：30～20：40） 令和６年　11 月 27 日（19：30～20：30）
１．初期支援（はじめのかかわり）	ﾒﾝﾊﾞｰ	常勤：８名　非常勤：７名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	6 人	7 人	1 人	1 人	15 人

前回の改善計画
①アンケートした結果を職員会議、・ケア会議で情報共有する。 ②アンケートをする職員担当を決める。
前回の改善計画に対する取組み結果
・ある程度は、事前に決めていることで、取り組めている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	4	10	0	1	15
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？	2	12	1	0	15
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか？	4	10	0	1	15
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？	4	9	1	1	15

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・担当がわかった時点や役割分担などを事前に決めていたことで、ご家族にアンケートを渡して受け取れている。
・アンケート内容は、会議で共有できている。
・アンケートはケース担当が主担当であると認識できている。
・会議や情報共有ノート等でご利用者の情報を収集でき職員間での声掛けにより必要な支援につなげている。
・気になること、心配事、事業所や職員に聞きたいことなど声を掛け聞きやすいようにしている。
・送迎時にご家族やご本人に困り事などがないか尋ねるようにしている。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

・ご利用者、ご家族の声にならない思いを汲み取りきれていない。事業所側からの働きかけや気遣いが不足している。
・ご家族や介護者の方との関係づくりができていない。職務的に訪問や送迎をしないため、ご本人以外と顔を合わすことが少ないため。
・ケース担当が把握をしていればよいと考えていたため、アンケートなどの内容を共有できていないことがある。
・新規利用のご利用者への関わりが少なく、初期支援シートの記入が少ない。
・得た情報をニーズに即してケアの工夫や提案ができていない面がある。問題意識や提案する力を持ったケアができていないことについて、指導ができていない。

次回までの具体的な改善計画	（200 字以内）

・ご家族に実施するアンケートを 2 種類に分別し、利用開始直後はご利用者のことを教えていただくアンケートを配布。利用開始から 3 か月後は、ご家族の介護に対する悩み、思いなどを聞くアンケートを配布する。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和６年　11 月 22 日（19：30～20：40） 令和６年　11 月 27 日（19：30～20：30）
２.「～したい」の実現（自己実現の尊重）	ﾒﾝﾊﾞｰ	常勤：８名　非常勤：７名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	5 人	8 人	1 人	1 人	15 人

前回の改善計画
①　聞き取りのご利用者をもう１名増やして、より深く聞けるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果
できていない月があったが、何とか取り組めている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	「本人の目標（ゴール）」がわかっていますか？	1	10	4	0	15
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？	1	11	3	0	15
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？	0	11	4	0	15
④	実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かせていますか？	0	10	4	1	15

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・モニタリングで確認している。また、ケース担当からのアセスメントの結果を聞いて共有できている。
・聞き取りを行い、ケース記録に残し、情報共有できている。
・短期目標をモニタリングで確認できている。
・「～したい」が明らかにない場合でも、聞き取りや課題分析で明らかにできている。
・アセスメント時期以外でも、聞き取りができていた。
・ご本人の様子や関わった内容を記録し周知した上で、振り返りできるようにできている。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

・一人ひとりの課題やニーズ、家族背景など把握できていないため、個別の関わりが十分にできていない。
・状況把握を優先してしまい、長期的な目標や「～したい」ことに対する把握や聞き取りができていない。
・目標改善への認識が不足し、目標に対して、できなかったことへの話し合いが足りなかった。
・一人ひとりの当面の目標について、共有する場が少なく支援できていない。
・時間に限りがあるため、早急に課題などの解決、改善が優先されており、変化を話すことができていないことがある。
・ご利用者に傾聴し寄り添えず、自分の思いを表現できないご利用者に対して、アプローチが上手くできていない。
・ご本人、ご家族と具体的な目標を話し合うことができておらず、数値など具体的な目標を上げることができていない。
・ニーズの変化をすぐに職員間で話し合う機会が持てておらず、ご本人のニーズの変化を即時に反映できていないことがある。

次回までの具体的な改善計画	（200 字以内）

・職員でミニカンファレンスを開催し、利用者様のニーズの変化に対応を検討していく。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和６年　11 月 22 日（19：30～20：40） 令和６年　11 月 27 日（19：30～20：30）
３．日常生活の支援	ﾒﾝﾊﾞｰ	常勤：８名　非常勤：７名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	0 人	5 人	6 人	4 人	15 人

前回の改善計画
①　送迎する職員が、パート職員など送迎に行かない職員に声を掛けて送迎に同行していく。
前回の改善計画に対する取組み結果
ご利用者の状態低下、フロアの見守りやご利用者の対応を優先したため、ほとんどできていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が 10 個以上把握できていますか？	0	4	9	2	15
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	4	11	0	0	15
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？	1	9	4	1	15
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	4	9	2	0	15
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	2	11	2	0	15

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・春は同行できていた。
・気づいた変化等を記録に残し、周知するようにして支援につなげている。
・基本的なケアは、状況や思いに合わせてできている。
・アンケートや聞き取りをすることで「以前の暮らし」を知ることができている。
・排泄介助はこまめにできている。食事も適宜、職員間で話し合い変更などを実施できている。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

・春終わりから現在は、人員がさけず同行できていない。
・個別に関わる時間が十分に確保できておらず、全てのご利用者のあらゆる点を理解できているとは言い難い。
・関わることが不足し、以前の暮らし方 10 個以上の把握というのができていない。
・ご本人の小さい思いを分かっていても、小さいからこそと対応できていないことがある。
・連絡ノートは多種多様な情報が記載されているため、見落としや理解の不足、把握の不足が生じている。
・基礎的なケアは、ケース担当やリーダーなどとすぐに話し合うことができておらず、変化に応じた即時的な支援ができていない面がある。
・ご本人が本当に求めていることなのか、根拠が弱いため、迷い把握しきれていない面がある。

次回までの具体的な改善計画	（200 字以内）

・以前の暮らし方 10 個だけを記入する書式を作成し、それに記入し情報を共有できるようにする。
・送迎に行かない職員が送迎に同行して自宅での生活を知る。そのために、役割分担表を用いて送迎の同行に行ける日を事前に確定させておく。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和６年　11 月 22 日（19：30～20：40） 令和６年　11 月 27 日（19：30～20：30）
４．地域での暮らしの支援	ﾒﾝﾊﾞｰ	常勤：８名　非常勤：７名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	1 人	12 人	1 人	1 人	15 人

前回の改善計画
①家での様子を知るために訪問して、具体的に話を聞き取る。電話で聞くことも行って、ケースに記入する。 ②地域の民生委員等、役員さんを対象に見学会を開催する。 ③地域資源の研修を継続する。
前回の改善計画に対する取組み結果
①　全員が電話や訪問での対応はできていないが、必要な方にはできている。 ②　見学会や研修はできている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？	0	11	3	1	15
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？	0	11	2	2	15
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？	0	6	7	2	15
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？	0	9	4	2	15

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・見学会や研修は開催できている。また、研修には参加できている。
・生活スタイル、人間関係などは会話などを通して、できる範囲で理解している。
・体調不良や変化があった等の時に、ご家族や医療機関などへの連絡を行い、対応できている。
・研修を通して、民生委員さんや老人福祉員さんと交流する機会が得られている。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

・誰に電話で確認するか、どのご利用者は訪問するか等、具体的に話し合えていないため、ご利用者の利用休みの日、全員に電話や訪問での確認はできていない。
・自宅への訪問は実際には難しく、周辺状況の把握も不足しており、地域資源の把握はまだ不十分である。
・全員の訪問や電話での対応をできていないため、ご本人の生活スタイル、現在の暮らしぶりの把握ができていない。
・地域の方との交流の機会や行事への参加機会が少なく、ご利用者とつながりを作るアプローチができていなかったため、地域資源の把握や活用が十分にできていない。
・自宅での過ごし方を尋ねても答えられない方がおり、把握が難しいこともある。

次回までの具体的な改善計画	（200 字以内）

・地域資源の研修を継続する。また、地域との防災研修を開催し、地域との連携を図っていく。
・ご利用者と職員などが参加できるイベントやサロンの開催をする。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和６年　11 月 22 日（19：30～20：40） 令和６年　11 月 27 日（19：30～20：30）
５．多機能性ある柔軟な支援	ﾒﾝﾊﾞｰ	常勤：８名　非常勤：７名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	２人	９人	２人	２人	15 人

前回の改善計画
地域交流会の研修は年３回程行い、利用者様の地域ごとにより具体的に情報共有する。
前回の改善計画に対する取組み結果
地域ごと(学区ごと)の交流会は開催できている。交流会の時に、具体的に情報を共有できている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	2	11	1	1	15
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	6	6	2	1	15
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	2	12	1	0	15
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	2	12	1	0	15

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・地域交流会は開催できている。学区で居住されているご利用者の情報を共有できている。
・会議や職員間の会話の中で、本人の「変化」や「状態」等を知り、共有できている。
・通い、訪問、宿泊の数が前年度から明らかに増えているが、それぞれ何とか対応できている。
・柔軟な対応はできている。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

・ニーズと利用頻度などに差があり、妥当適切ではない利用があることがある。
・ご家族や介護者の介護保険の理解や他資源利用への理解が不十分で、ニーズや希望されることが適切な支援と結びつかず、また他資源にもつながりにくいことがある。
・ケアが必要なご利用者の情報共有を優先しているため、小さな「変化」などに気付きにくい状況がある。
・活用できる制度やサービスが理解できていなかったり、インフォーマルを活用する視点がなかったりする。
・1 回の会議で共有の機会を作っているため、優先順位が発生し、小さな変化などは共有できていないことがある。
・どのような資源があるか、またはその資源について理解が不足しており、支援につなげられていない。

次回までの具体的な改善計画	（200 字以内）

・ケース記録の申し送り事項を必ず全職員がチェックを速やかに行い、利用者様の変化を把握する。
・ケース記録の一段目に[〇〇〇]と題名（フォーカス）をつけて、見落としにくく、見やすくする。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和６年　11 月 22 日（19：30～20：40） 令和６年　11 月 27 日（19：30～20：30）
６．連携・協働	ﾒﾝﾊﾞｰ	常勤：８名　非常勤：７名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	0 人	6 人	6 人	3 人	15 人

前回の改善計画
①年間行事に地域のイベントを入れて、参加するようにする。 ②年間計画の研修や行事には、必ずボランティアや地域の方が参加できるような形を考えるようにする。 ③サービス担当者会議の際には、介護、看護職員が照会文書を書いて参加する。
前回の改善計画に対する取組み結果
地域のイベントを年間行事に組み込んでいたが、開催されなかったことなどがあり、参加ができていない。 年間行事にボランティアや民生委員が参加できている。 照会文書を作成できていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	0	5	4	6	15
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	1	2	4	8	15
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	0	1	9	5	15
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	0	5	7	3	15

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・圏域ケア会議に参加している。また、参加した内容を会議で共有できている。 ・地域交流会や行事(植物園外出、夏祭りなど)に企画に参加できている。 ・研修に地域の方が参加されたり、見学会を開催している。 ・地域の方が野菜を売りに来られ、交流できている。 ・チャレンジ体験が 11 月に 4 日間、受け入れがある。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・地域のイベントが開催されず参加できていない。 **・研修や行事に地域の方に参加の声掛けを失念しており実施できていない。** ・照会文書の作成方法などが明確にできておらず、作成できていない。 ・その他サービス機関との会議、自治体などとの会議がいつ開催されるのかなど明確化されていないため、参加できていない。 ・日曜日に開催されていたため、参加し難く、町内会などの活動に参加できていない。 ・積極的に参加の意思を包括センターに伝えていなかったこともあり、柊野学区以外の地域ケア会議などには参加できていない。	

次回までの具体的な改善計画	（200 字以内）
・中学生のチャレンジ体験の受け入れを行い、事業所を知ってもらう機会にする。 **・年間計画の研修や行事には、必ずボランティアや地域の方が参加できるような形を企画するようにする。** **・年間行事に地域のイベントを組み込み、参加するようにする。** **・研修や行事の年間計画をご家族や地域の方に配布して、参加を呼び掛けていく。・見学会を開催する。**	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和６年　11 月 22 日（19：30～20：40） 令和６年　11 月 27 日（19：30～20：30）
７．運営	ﾒﾝﾊﾞｰ	常勤：８名　非常勤：７名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	0 人	1 人	9 人	5 人	15 人

前回の改善計画
①パンフレットを地域に配布できるように常にカバンやバイクにつんでおく。 ②広報誌のアピール文書は複数人で検討して行う。

前回の改善計画に対する取組み結果
鞄やバイクにつんでいたが、配布する機会がなかった。 **広報誌にアピール文章は複数人でなく、担当者が考えて掲載していた。**

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか？	0	12	0	3	15
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	0	11	1	3	15
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	0	10	2	3	15
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？	0	7	6	2	15

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・パンフレットはつんでいた。配布できる環境にできていた。
・職員会議では積極的に意見を述べている。
・運営推進会議が定期的に行われている。
・地域交流会に参加できている。
・意見や苦情があった時に、周知し対応できるようにしている。
・認知症などで、通常のサービスで対応が難しくなった場合「ガーデンさんで」と頼まれることも多くなっている。
・防災の取り組みも地域と進めていくことを始めている。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

・アピール文章をいつ、だれとだれがなど明確にして決めていなかったため、担当者が考えて掲載していた。
・地域の方との関わる機会があまり作れておらず、接することができていない。
・パンフレットを渡す良い機会や渡す意識が低く、実際にパンフレットを渡すことができていない。
・運営推進会議の内容を把握できていない。

次回までの具体的な改善計画	（200 字以内）

・運営推進会議の議事録を回覧し、情報を全職員が把握できるようにする。
・地域資源の研修時、防災研修を行い、具体的な動きを共有できるようにする。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和６年　11 月 22 日（19：30～20：40） 令和６年　11 月 27 日（19：30～20：30）
８．質を向上するための取組み	ﾒﾝﾊﾞｰ	常勤：８名　非常勤：７名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	2 人	8 人	4 人	1 人	15 人

前回の改善計画
①外部研修を選ぶにあたり、自分で何を学びたいかを考えておく。そのうえで必ず、年１回以上は受ける。 ②ヒヤリハット報告書がかけてないため、メモ用紙の裏をヒヤリハットしたことを即時記載できるようにする。 ③ヒヤリハット報告を職員が、月担当を決めて担当者は１枚以上出す。
前回の改善計画に対する取組み結果
職員個人で何を学びたいか決めて、動いている職員もいる。外部研修を受ける意識はできている職員は前年度より多い。 ヒヤリハット報告書で提出できていることが多く、メモ用紙裏に記載はあるが少ない。 ヒヤリハット報告書を提出する担当月が決められているため、確実に実施できている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか	6	8	0	1	15
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	3	5	2	5	15
③	地域連絡会に参加していますか	1	1	7	6	15
④	リスクマネジメントに取組んでいますか	2	12	0	1	15

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・研修に参加しスキルアップにつなげている。
・ヒヤリハット報告書を提出している。担当月にヒヤリハットを提出している。
・会議内でもヒヤリハット報告書の内容を把握し、再発防止につなげるように意識をもつようにしている。
・研修は計画通り開催できている。
・リスクマネジメントは毎月行っている。
・ヒヤリと思ったことは、改善できることがあれば、その場で変えたり誰がやっても事故が起こらない業務になるよう、意識はしている。
・ヒヤリハット報告書の提出件数は増えている。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

・外部研修の案内は見たが、参加するまでに至っていない。
・外部研修への参加や地域連絡会への参加はできていない。
・新規採用時の研修ができていない。
・内部研修の欠席者や派遣職員への対応について曖昧なところがある。
・リスクマネジメントで改善策を決めているが、守られずに事故につながるケースがある。

次回までの具体的な改善計画	（200 字以内）

・受講したい外部研修のジャンルを掲示して、職員が外部研修を受講できるようにする。
・事業所内研修を欠席の場合は、研修の動画を見る、課題を提出するなど、学べる体制をする。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和６年　11 月 22 日（19：30～20：40） 令和６年　11 月 27 日（19：30～20：30）
９．人権・プライバシー	ﾒﾝﾊﾞｰ	常勤：８名　非常勤：７名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
⓪	前回の課題について取り組めましたか？	5 人	8 人	1 人	1 人	15 人

前回の改善計画

①声掛けやプライバシーについて、より心がけるために毎週ポジティブデイをつくり、引継ぎ時も呼びかけをしていく。
②排泄表などは、伏字にしておくなどの対応をする。
③研修をしている際に振り返りをする。

前回の改善計画に対する取組み結果

・毎週、ポジティブデイをつくっているが、少しずつ慣れがでてきて、意識できていない日がある。しかし、ポジティブデイの日を設けることで、去年よりも不適切な声掛けが減っている効果はある。
・排泄表などは伏字にして、プライバシー保護を意識できている。
・振り返りする機会は設けているが、それ自体に効果が明らかにあるとは言い難い。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	身体拘束をしていない	10	5	0	0	15
②	虐待は行われていない	11	4	0	0	15
③	プライバシーが守られている	2	11	2	0	15
④	必要な方に成年後見制度を活用している	2	10	1	2	15
⑤	適正な個人情報の管理ができている	3	12	0	0	15

できている点　200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・ご利用者への言動は気を付けている。
・排泄表が開いたままになってると、閉じるようにしている。
・10/23 に研修を開催し、自分がご利用者にしているケアを振り返ることができている。
・身体拘束はない。虐待もない。プライバシーが守られるように業務内で努力している。
・ポジティブデイがあることで、他の職員にも声掛けしやすくなった。

できていない点　200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

・うっかりしてしまい、ご利用者が近くにいるが申し送りなどをしてしまっていることがある。
・ポジティブデイがあるが、意識している人と意識が低い人がいる。ポジティブな声掛けができるように、言葉の引き出しを増やす勉強をしていない。
・日々の業務に追われて意識が薄れていることがある。日々の業務に追われてしまい、スピーチロックなどしてしまうことがある。
・ご利用者の急な動きに対応するために、排泄表、バイタル表などご利用者に見えてしまう状況になっていることがある。
・難聴の方へのトイレの声掛けに配慮ができていなかったことが多い。
・足元の人感センサーを使用して、頼りきってしまっている面がある。センサーが本当に必要か適宜、検討していく必要がある。
・不適切な声掛けやケアを振り返りができておらず、スピーチロックや尊厳に配慮できていない声掛けがなくなっていない。

次回までの具体的な改善計画　（200 字以内）

・否定語（「だめ」「あかん」「～しないで」）禁止デイを作り、言葉での拘束をしない。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」　総括表

法人名	社会福祉法人 柊野福祉会	代表者	酒枝　素子
事業所名	ガーデンハウス上賀茂	管理者	鳴瀧　知恵

法人・事業所の特徴	社会福祉法人柊野福祉会は、京都市内で高齢者福祉施設やサービスを多分野（9 分野 16 事業所）にわたって運営している法人です。40 年の歴史があり、地域のニーズに応えるべく、特に地域密着型サービスに重点をおいた事業展開を行っています。小規模多機能型居宅介護も京都市内で最も早く運営を開始した実績があり、現在では 3 事業所を運営しています。ガーデンハウス上賀茂は、平成 27 年 3 月に開設した事業所で、法人の本拠地である柊野圏域であり、地域とのつながりや連携が容易にできるところが特徴となっています。

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援ｾﾝﾀｰ	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	1 人	2 人	0 人	1 人	1 人	人	2 人	人	7 人

項　　目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A．事業所自己評価の 確認	①利用開始当初に利用者アンケートをする担当職員を決めて、結果を職員会議、・ケア会議で情報共有する。 ②毎月の情報聞き取りの利用者を 2 人以上にしてより深くきけるようにする。 ③送迎する職員が、普段送迎に行かない職員に声を掛けて送迎に同行していったり、訪問対応をしていない職員も訪問の機会を作るようにすることで、自宅での暮らしを把握する。 ④家での様子を知るために訪問して、具体的に話を聞き取る。電話で聞くことも行って、ケースに記入する。 ⑤外部研修を選ぶにあたり、自分で何を学びたいかを考えておく。そのうえで必ず、年 1 回以上は受ける。 ⑥ヒヤリハットがあれば、普段使用している申し送りメモの裏に	①ある程度は、事前に決めていることで、取り組めている。 ②できていない月があったが、何とか取り組めている。 ③ご利用者の状態低下、フロアの見守りやご利用者の対応を優先したため、ほとんどできていない。 ④全員が電話や訪問での対応はできていないが、必要な方にはできている。 ⑤職員個人で何を学びたいか決めて、動いている職員もいる。外部研修を受ける意識はできている職員は前年度より多い。 ⑥ヒヤリハット報告書で提出できていることが多く、メモ用紙裏	・事業所自己評価には全員で取り組んでいることが確認できた。 ・改善計画については具体的な取り組みがされていることがわかった。	①ご家族に実施するアンケートを 2 種類に分別し、利用開始直後はご利用者のことを教えていただくアンケートを配布。利用開始から 3 か月後は、ご家族の介護に対する悩み、思いなどを聞くアンケートを配布する ①職員でミニカンファレンスを開催し、利用者様のニーズの変化に対応を検討していく。 ②以前の暮らし方 10 個だけを記入する書式を作成し、それに記入し情報を共有できるようにする。 ③送迎に行かない職員が送迎に同行して自宅での生活を知る。そのために、役割分担表を用いて送迎の同行に行ける日を事前に確定させておく。 ④ケース記録の申し送り事項を必ず全職員がチェックを速やかに行い、利用者様の変化を把握する。ケース記録の一段目に[○○○]と題名(フォーカス)をつけて、

	即時記載できるようにする。ヒヤリハット報告書の月担当を決めて担当者は１枚以上出す。 ⑦声掛けやプライバシーについて、より心がけるために毎週ポジティブデイ（声掛けについてよりポジティブを心がける日）をつくり、引継ぎ時も呼びかけをしていく。排泄表などは、伏字にしておくなどの対応をする。研修をしている際に振り返りをする。	に記載はあるが少ない。 ヒヤリハット報告書を提出する担当月が決められているため、確実に実施できている。 ⑦毎週、ポジティブデイをつくっているが、少しずつ慣れがでてきて、意識できていない日がある。しかし、ポジティブデイの日を設けることで、去年よりも不適切な声掛けが減っている効果はある。 ・排泄表などは伏字にして、プライバシー保護を意識できている。 ・振り返りする機会は設けているが、それ自体に効果が明らかにあるとは言い難い。		見落としにくく、見やすくする。 ⑤受講したい外部研修のジャンルを掲示して、職員が外部研修を受講できるようにする。事業所内研修を欠席の場合は、研修の動画を見る、課題を提出するなど、学べる体制をする。 ⑥否定語(「だめ」「あかん」「～しないで」)禁止デイを作り、言い方をポジティブにする意識づけをする。
Ｂ．事業所のしつらえ・環境	①事業所に入ってもらいやすいようにパンフレットを地域に配布できるように常にカバンやバイクにつんでおく。広報誌のアピール文書は複数人で検討して行う。 ②フロアの環境（温度、雰囲気、過ごしやすい設定）などを常に考え、季節ごとに変更していく。	①鞄やバイクにつんでいたが、配布する機会がなかった。 広報誌にアピール文章は複数人でなく、担当者が考えて掲載していた。 ②感染対策として換気しながら、季節ごとに温度調整、席の配置など変更できた。	事業所前に大きな目印がないため、事業所に入るところがわかりにくい。	①今年も見学会を開催し、地域の方に知ってもらう機会をつくる。 ②季節ごとに温度調整、席の配置などを変更して、居心地の良い空間をつくる。
Ｃ．事業所と地域のかかわり	①地域の住民、民生委員等、役員さんを対象に見学会を開催する。 ②年間計画研修や行事には、必ずボランティアや地域の方が参加できるような形を考えるようにする。	①6 月に見学会を地域の方と関係機関の方対象に2回にわけて行うことができた。 ②年間行事にボランティアや地域の役員さんに参加して頂いた。	・民生委員などの役員さんには事業所が知られてきているが、地域住民にはまだ知らない人が多いのではないか。 ・夏祭りには参加した。 ・相談しやすい事業所かどうかは評価しにくい。	①中学生のチャレンジ体験の受け入れを行い、事業所を知ってもらう機会にする。 ②年間計画の研修や行事には、必ずボランティアや地域の方が参加できるような形を企画するようにする。
Ｄ．地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	①地域資源の研修は担当学区ごとに年３～４回程行い、利用者様の地域ごとにより具体的に情報共有する。 ②年間行事に地域のイベントを入れて、参加するようにする。	①地域ごと(学区ごと)の交流会は開催できている。交流会の時に、具体的に情報を共有できている。 ②地域のイベントを年間行事に組み込んでいたが、開催されなかったことなどがあり、参加ができ	・イベントに参加できているかどうかはわからない。 ・利用者以外のご近所の心配な方には、あまり関われていないのではないか。	①地域資源の研修を各地域の役員さんと実施する。 ②年間行事に地域のイベントを組み込み、参加するようにする。

		ていない。		
E．運営推進会議を活かした取組み	運営推進会議で、登録利用者や地域で支援が必要な方の情報共有を行っていく。その中で、事業所として地域でできることを話し合っていく。	運営推進会議で、登録者や登録者以外の情報共有を行った。	・運営推進会議で事業所の取り組みをわかりやすく説明できている。会議ででた意見を改善につなげることができている。	運営推進会議で、登録利用者や地域で支援が必要な方の情報共有を行っていく。その中で、事業所として地域でできることを話し合っていく。
F．事業所の防災・災害対策	①災害時には緊急短期入所を登録者以外の要介護者の方にも利用して頂けるようにする。 ②災害時の対応について、ご家族に説明を行っていく。 ③学区の防災訓練への参加し、事業所の防災訓練にも参加して頂く。	①今年度、災害時の短期入所の実績はなかったが、受け入れ体制はとることができている。 ②災害時の対応について一部ご家族と対応を話し合っている。 ③学区の防災訓練には参加できたが、事業所の防災訓練には参加してもらえなかった。	・事業所の防災計画はよくわからない。 ・事業所の消防訓練の日時がわかれば、参加できる。	①災害時には緊急短期入所を登録者以外の要介護者の方にも利用して頂けるようにする ②地域資源研修を行う際には、利用者様の災害時の対応についても話し合う。